

第2次碧南市スポーツ推進計画 第2回策定委員会 会議録

日時 令和6年9月5日（木）

午後7時～

会場 臨海体育館 第2体育室

1 日時

令和6年9月5日（木）午後7時から午後8時まで

2 場所

碧南市臨海体育館 第2体育室

3 出欠席

(1) 出席者 9名

碧南市スポーツ協会 杉浦直基、荒木重広
碧南市レクリエーション協会 杉浦正勝
NPO法人へきなん総合型スポーツクラブ 井上浩之
中小学校体育連盟碧南支所 石原竹春
碧南市スポーツ推進委員会 岡部茂也
碧南市スポーツ少年団 伴野義雄
碧南市社会福祉協議会 中川英治
市民公募 土谷心平

(2) 欠席者

なし

(3) 事務局

教育部長 山田昌宏
スポーツ課長 中嶋忠彦
スポーツ課課長補佐 本多真
スポーツ課スポーツ係主事 角谷和治

(4) 傍聴者

なし

4 議事の要旨

(1) あいさつ（杉浦直基会長より）

(2) 議題

次第に基づき議題(1)～(3)を事務局から説明。

ア 課題の整理

現行のスポーツ推進計画における5つの基本方針に基づく施策の方向ごとの取り組み状況について評価を行い、引き続き課題となる点を整理した。

また、新たな観点として、国の第3基スポーツ基本計画や第6次碧南市総合計画を確認し、スポーツをまちづくり、賑わいづくりの一環とし、地域の活性化に活かすものとして整理した。

イ アンケート調査

資料のとおりアンケート調査を作成し、1,500人（市内在住者18歳以上無作為抽出）に送付する。紙または電子にて回答をもらう。

【委員】市の公共施設を利用するかという設問で、これは学校開放も含むのか。

【事務局】学校開放の利用も含めます。

【委員】スポーツ・運動が好きですかという設問について、観るのは好きだがするのは嫌い、といった形もあると思うので、する、観るそれぞれにおいて好きか嫌いかを聞く形の方が良いのでは。

【事務局】設問を分けて、それぞれ聞く形に改めます。

【委員】臨海公園の周り等でジョギングしている人は施設を利用しているかと捉えるのか。

【事務局】人によって捉え方が異なるかもしれませんが、利用していると捉えます。

【委員】課題に対して問を作成していると思うが、指導関係の項目が一つもない。指導者育成も課題であるため、指導者になりたいか、指導に関わりたいと思うか、といったことを聞いてみたい。

【事務局】そういった質問を設けます。

ウ 計画の骨子と数値目標

基本方針をする、みる、ささえる、つながるの4つに改め、数値目標をスポーツ実施率のみとして整理する。

【委員】スポーツ実施率の目標値について、国、県同様70%にするのか。

【事務局】国、県に揃えたい気持ちもあるが、現状が49%であり現実的でない数値とするのも判断が難しい。今回、実施率の数値自体については決めることはせず、数値目標の新たな考え方について提示させていただいた。

5 その他

【委員】今後の策定スケジュールはどのようになるか。

【事務局】この会議後、アンケート調査を実施し、10月半ばまでに取りまとめ、計画の素案をお示しできる段階で第3回目の会議を開催したい。予定としては10月末か11月頭を予定しています。